

平成27年度対ジンバブエ草の根・人間の安全保障無償資金協力「マコンデ郡の教育機関における安全な水供給計画」引渡式

10月31日、チルマンズ郡テンデラ小学校に於いて、平成27年度対ジンバブエ草の根・人間の安全保障無償資金協力「マコンデ郡の教育機関における安全な水供給計画」の引き渡し式が開催されました。本引渡し式にはシャム・西マシヨナランド州担当大臣やノムサ下院議員、テンデラ小学校校長、テンデラ小学校生徒、本プロジェクトの実施団体であるマガラモンベ・ファーム・コミュニティー・トラスト代表、地元住民等、合計約300名以上が出席して行われました。

本プロジェクトは、約9万米ドルの支援でマコンデ郡の10校に対し、深井戸の掘削やパイプの設置等により安全な水供給を確保するもので、今回の支援を通して、10校に通う生徒達及び近隣に住む地域住民約6,000名が安全な水にアクセスできるようになりました。マコンデ郡では全人口の35%が安全な水にアクセスできず、毎年コレラ等の水系感染症の発生が確認されており、このたび新たに水供給が確保された学校は、特に水の確保が難しい地域に位置していました。この新たに確保された水供給で、子供達だけでなく、近隣住民の健康にも裨益することができます。また、菜園計画を始めた学校もあります。

本使は引渡し式のスピーチで、生徒達に対し、今後は遠く離れた近隣の井戸まで水を汲みに行く必要がなくなるため、それらの貴重な時間を勉強に励んでもらいたい旨述べました。我が国の支援で、マコンデ郡の人々の生活がより豊かなものになる事を願っています。



プロジェクトで設置された井戸に綺麗な水を求めて生徒達が集まっています



岩藤大使の挨拶



深井戸前で関係者による写真撮影。
岩藤大使の右隣はシャム・西マシヨナ
ランド州担当大臣



引渡式に参加した生徒達



本プロジェクトを通して衛生的な井戸が
設置されました



プロジェクト実施前の井戸。家畜と子供が
井戸を共有していて、衛生的ではありません
でした